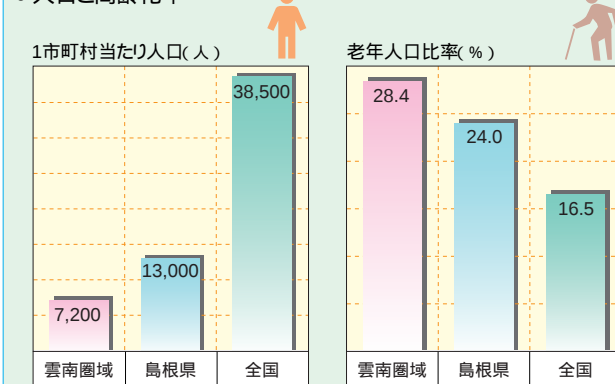


市町村の枠組みを越え、新たな広域連合活動を支援

中山間地域の新しい医療を目指す

- ・島根県は1市町村当たりの人口が少なく、とくに雲南圏域などの中山間地域では過疎化、高齢化が深刻な問題に。
- ・これらの圏域では高齢化に対応した医療・福祉サービス水準が低く、町村ごとに格差も。
- ・雲南圏域では、市町村の枠組みを越えた新たな広域連合を設立。
- ・これにより一体的な地域振興や介護保険などの福祉サービスの確保に。
- ・頓原町では、医療・福祉水準の低い掛合町、赤来町などもカバーする中山間地域の新しい医療を目指して、町立病院を新築移転。
- ・市町村間を連絡する国道54号をはじめとする幹線道路ネットワークは、雲南圏域での取り組みを強化および支援するうえで重要な役割。

●人口と高齢化率



資料 / 住民基本台帳 H11.3

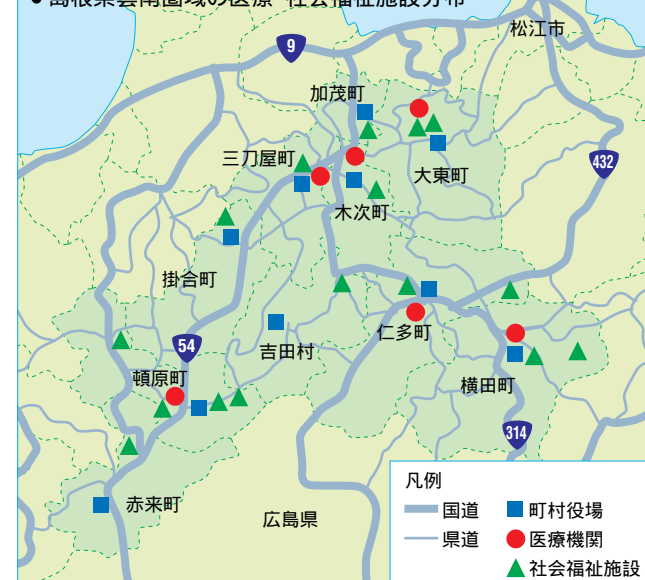
●中山間地域の新しい医療を目指す新頓原病院の開院(H12.5.1)



●車が十分にすれ違える道路はまだ少ない



●島根県雲南圏域の医療・社会福祉施設分布



●雲南広域連合(9町1村 72,567人(H9))

設定理由

- 1) 共通課題を踏まえた広域的地域振興
- 2) 簡素で効率的な広域行政体制整備
- 3) 介護保険の財政安定化、保険料・サービスの平準化

設立年月日

平成11年8月1日

処理する主たる事項

- 1) ゆうきの里雲南基本構想
- 2) 介護保険の実施
- 3) 広域に行う事務の調査研究